

## 挨拶

赤岡 功（京都大学副学長）

御紹介にあずかりました赤岡でございます。今御説明ございました様に、総長は、日頃からFDに大変御熱心でございまして、今日の研究会を非常に楽しみにされておられたわけでありますけれども、本日は急用でどうしてもこの会におでになれないというものですから、私が急ぎょ御挨拶をさせて頂くという事になりました。

京都大学としましてはFDの研修会は4年前から毎年1回行っておりまして、3回程連続して実施しましたが、去年は1回お休みになりまして、今年はその第4回目を開催する予定にしておるわけであります。私は、その企画の責任にありまして、そういう意味では、ここで御挨拶させていただくのも良いのかもしれないとも思っておりますが、実は内心は当惑致しております。と申しますのは、私は副学長となってもまだ日も浅く、個人と致しましては自分の専門の分野内での教育改革には色々と努力してきたつもりでありますけれども、FDそのものについてそれ程体系的に考えてきたわけではございません。そういう意味で御挨拶申し上げるのに多少のとまどいを覚えております。

しかし、今日のテーマを見せて頂きましたり、主旨を読ませて頂きますと、FDにつきまして、「各教員の日常的な個別の実践の努力を孤立させずに繋いでいく事が大切です」、また、そればかりではなく、「各大学での取り組みを全国レベルで繋ぐ事も必要なのです」とありますが、まったくその通りで、私も、多くの先生方のように、自分の専門教育においては大学での教育の改善をしようとし、個人としては努力していますが、そうした努力は個人的なものにとどまっており、連携の重要性は痛感しています。そう言う意味で、今日のような会は大変興味深いものだと思っており、ここで御挨拶できることを嬉しく存じています。

私は、個人的にはどういう事をしているのかという事を簡単に御紹介しますと、授業の方は、あまりたいした事はしていないわけですが、4年前から授業は基本的には全部パワーポイントでやっております。私の様な年令では少し恥ずかしいのですが、絵を出したり写真を出したりしています。私の専門は経営学ですが、絵や写真を出しますと理解を助ける上で非常に効果がございまして、パワーポイントは音も出せますので、15分ごと位に音をだしてちょっとした冗談もできるわけです。たとえば、会社の経営危機の話のときに、駆け付けてくる救急車の絵と音を出してみたり、それから、拍手してもらいたいところには自分で予め拍手の音を入れておいたりということで、学生達には少し息抜きにもなり、これはなかなか効果があるようでありまして、出席率も注目度も良好と思います。これは授業であります。もう1つは、ゼミで、ゼミの方はちょっと変わった事をやっております。私のゼミは経営学でありますものから、十一月祭とよばれる大学祭を利用させていただきまして、2、3年に1回、経営学実習のためのイベントとしまして「シンポジウム」を学生達に「企画・運営」をさせているわけですが、その第1回目は男女共同参画社会、2回目は沖縄の物産店と京都の文具洋品店、女性ファッション店などと京都大学を結びましてバーチャルショップと京大銀行を開店し、実際に沖縄の物産や文具などを買ってもらったりして、実演も入れたシンポジウムをやりました。それからその次の回はベンチャービジネス、それから昨年は二十一世紀の働き方のシンポジウムでした。こういうシンポジウムには専門家の方だとか会社の経営者、それから女性の問題でしたら宝塚歌劇団の元トップスターだとか、それからニュースキャスターの安藤優子さんだとか、そういう方に来ていただいてやるのですが、その交渉から当日の司会から、それらを全部学生がやります。学生達が専門家の議論を司会するので、彼らとしても真剣に、相当勉強しなければなりませんし、それから専門家や著名な方に交渉に行きますから、度胸も、プレゼンテーション力もつきますし、経営学の実践としてはなかなか良いと思っています。ただ、私が一番心配しているのは何とか赤字にしないで欲しいという事です。今までは赤字を2回、それも大赤字を一度出していますが、それ以外は大抵収支均衡という事でやっています。

個人的には今申し上げたような事をさせていただいておりますけれども、私の所属する経済学部をみても、教育上の様々な試みをなさっておられる方がいらっしゃいますし、それから、全国的にも色々な事をなさっておられ、素晴らしいと思うものについて私達もいくつかは知っていますが、それらは、漏れ聞くという程度で知っているのであ

りまして、決して系統的に知っておるわけではありません。先日、このセンターの公開研究会で、田中一先生の「質問紙法」というのを聞かせて頂きまして、これも感激致しましたし、そういう意味で今日のこの会の主旨にありますように、様々な学部、大学での多様な努力をうまく繋いでいただくという事は非常に有り難い事でありまして、こういう素晴らしい会合を通じまして全国レベルでの連携を発展させていただけますことに大きな期待をもっております。

本日は、こういう企画をたてて下さいました先生方、それから貴重な実践の報告を頂く山口大学、新潟大学の先生、それから討論に参加して下さいる方々、それからさらには陽春の気分の浮き立つような一日に、こんなに多数の方にお集り頂きまして、御議論いただきます事を嬉しく存じております。どうか最後まで活発な御議論をして頂きますようお願いしたいと思います。本日はどうも有難うございます。